

松下記念病院の医師が解説！



日本救急医学会救急科専門医
日本集中治療医学会集中治療専門医
インフェクション・コントロール・ドクター(ICD)
堀 雅俊先生

コロナが5類に！ どう変わる？

5類になるとどう変わる？

政府は2023年5月8日から、新型コロナウイルスの位置づけを現在の新型インフルエンザ等感染症(2類相当)から5類感染症に移行する方針と決めました。5類とは、季節性インフルエンザと同じ類型です。

●主な変更点

	現在(2類相当)	5類移行で…
医療費	全額公費負担	原則自己負担 ※入院費・高額治療薬は公費負担あり
受診できる医療機関	発熱外来など一部	幅広い医療機関
ワクチン	自己負担なし	2023年度は自己負担なし

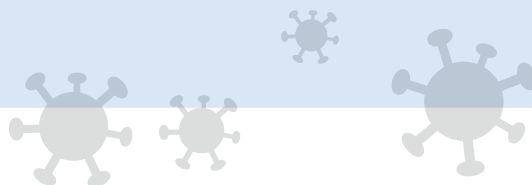
コロナとインフルエンザ

では、コロナはインフルエンザと同じようなものとして考えて良いのでしょうか。双方を比較してみましょう。

	コロナウイルス	インフルエンザウイルス
分類(感染症法)	<p>【2類】 SARS、MERS 【2類相当】 <u>新型コロナウイルス感染症</u> ↓ 【5類】 <u>新型コロナウイルス感染症</u></p> <p>他に感染症法対象外で「かぜ」とされる4種類あり</p>	<p>【2類】 特定鳥インフルエンザ 【2類相当】 <u>新型/再興型インフルエンザ</u> 【4類】 鳥インフルエンザ 【5類】 <u>インフルエンザ(季節性)</u></p>
歴史	<p>1960年代…かぜのコロナウイルス発見 2002年 重症急性呼吸器症候群(SARS) 2012年 中東呼吸器症候群(MERS) 2019年 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)</p>	<p>1800年代…流行があったと推測されている 1918年 スペインかぜ 1957年 アジアインフルエンザ 1968年 香港インフルエンザ</p> <p>いずれも } 新型インフル } エンザ</p>
感染力(実効再生産数※1)	最大2.3程度	1.3程度(季節性インフルエンザ)
重症化率※2	60歳未満	0.01%
	60・70歳代	0.26%
	80歳以上	1.86%
致死率※2	60歳未満	0.00%
	60・70歳代	0.18%
	80歳以上	1.69%

※1 1人の感染者が次に感染させる人数の平均値

※2 2022年7～8月の新型コロナウイルス感染症と、季節性インフルエンザを比較(ただし、集計方法が異なるため単純比較はできない)



前ページのとおり、100年以上研究されてきたインフルエンザウイルスに比べて、コロナウイルスに関する歴史は浅く、医療者・研究者の経験値や知識はまだまだ不十分です。今後、新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザのようになるのか、終息するのか、新たに重症化しやすい変異株が生まれるのかはまだ誰にもわかりません。

また、実効再生産数が示すとおり新型コロナウイルス感染症は感染力が強く、季節性インフルエンザと同様とは言えません。

5類感染症に変わっても、ウイルスは変わらず存在し、ヒトからヒトに感染し、時に重症化を巻き起こしていくため、引き続き注意が必要です。

感染対策、今後どうする？

政府は「三密の回避」、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等の基本的な感染対策は引き続き重要としながら、「マスクの着用」については3月13日から「個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねる」としています。ただし、マスクが効果的な場面では着用を推奨しています。



〈マスクの着用が推奨される場面〉

- 医療機関・高齢者施設など
- 通勤ラッシュ時
- 重症化リスクの高い人が混雑した場所に行くとき
- 症状がある場合や、自分や家族が陽性の場合（外出はなるべく控え、やむを得ず外出する場合はマスク着用）

先生の今後の感染対策は？

マスク・手洗い・消毒のデメリットとして「表情が分かりにくい」「肌荒れ」「出費増大」等がありますが、メリットとして感染対策には効果的です。実際、例年多く発生していたインフルエンザが過去2シーズンはほぼ報告されませんでした。人の移動が制限されたことも要因かもしれませんが、マスク・手洗い・消毒の励行が非常に有効であったと考えられます。

私にはまだ小さな子がおり、また両親はすでに高齢者になっています。子は保育施設に通い日々の遊び・学びや催しものに目を輝かせています。高齢の両親は老後生活や仕事に充実した生活を送っています。コロナにかかわらず、たとえば私がマスクなどの感染対策をしないことなどでかぜなどをひき、それを子や両親にうつしてしまった場合、彼らの充実した生活を壊すことになってしまいます。

もちろん、私以外からもウイルスなどをもらってくることもあるでしょうが、私が感染源になって彼らの機会を奪いたくはないのです。

このように、私にとっては外出時のマスク着用や手洗い・消毒は費用対効果が大きい感染対策だと考えており、継続するつもりです。読者の皆さまはどのようにお考えになるでしょうか。



マスクの着用

手洗い

消毒